

さとう ゆうや 10. 佐藤 優弥 さん

就業のきっかけ

出身は胆振管内むかわ町穂別で、祖父、父親、兄といずれも林業事業体で現場作業に従事していたことから、なんとなく自分も林業の仕事に就くことを考えていました。

穂別高校在学時には、胆振総合振興局が地域の高校生を対象に開催した「じもと×しごと発見フェア」に参加して、高性能林業機械による作業動画を視聴したり地元の林業事業体から直接会社の業務内容等の説明や会社PRを聞いたりして、卒業後は林業への就業を明確にするきっかけとなりました。

また、インターンシップで地元の森林組合で仕事の体験もしましたが、森林組合は山での現場作業が無く、自分は現場で働きたい気持ちが強かったこともあり、そうしたときに、現在の職場で先に働いていた友人から一緒に仕事をしないかと誘われたのが現在の会社へ入るきっかけとなりました。

しかし、自分を誘った友達が最近職場を辞めてしまい、今は一緒に働いている人たちは皆60歳代以上で、同年代の仲間がいないのが寂しいです。

令和元年6月に結成された胆振管内の林業・木材産業に携わる若者で組織する「胆振林業青年部」に加入し、他の事業体の同年代の方とも交流を深めたいのですが、コロナ禍での活動もままならず早く終息することを願っています。

仕事の内容

道有林等での造材や地拵え、植え付け、下刈り、間伐等と全ての作業に対応しています。林業機械等の操作等様々な資格もほとんど取得しました。



【酷暑の中下刈り作業を行う佐藤氏】

仕事の大変なところ

今はちょうど下刈り作業の時期ですが、この作業が一番つらい!! 2~3条植えの現場ならまだましだけど、6条植えとかになると刈り幅が広く、仕事が全然進んでいないように見えて心が折れそうです(;´д`)

それと、常に危険が伴うこと、熊もいるけどスズメバチが一番恐ろしい。これまで3回刺されたけど、注意をしてもエンジン音で羽根音もかき消されてし



鬼頭木材工業株式会社

〒059-1374
苫小牧市晴海町37

(造林・素材生産)

年齢 21歳
勤続年数 3年目

まうので近くにいても分からないし、病院から遠い山の中なのでアナフィラキシーショック等になったときのことを考えると心配です。

仕事のやりがい

職場に入り初めての仕事が植え付けでした。自分が想像していたのは木を伐採する仕事だと思っていたので、働いてみると伐採の仕事よりも地拵えや植栽、下刈りといった地味で機械化の進んでいないきつい仕事の方が多く大変ですが、森林を適切に管理し、森林の機能や木材生産を継続していくためには大切な仕事だと思っています。

それと、機械が好きなので高性能林業機械のオペレーターもやってみたいです。



【休憩時間中も機械の整備点検に余念がない】

胆振の魅力

自分は、高校を卒業してそのまま地元で仕事をしているので、他の地域のことは知らないし、魅力とは聞かれても分からないけれど、慣れ親しんだ土地なので暮らしやすいのだと思います。

林業に興味を持っている方へメッセージ

地拵え、植え付け、下刈りといった造林作業は、きつい厳しい仕事だと理解しておいてほしいです。

皆伐や間伐は機械化も進んできていますが、チェーンソーでの伐採作業はいつも危険と隣り合わせなので、常に緊張感を持って作業をしなければならないです。

そうしたことが苦にならない方は、一緒に山で働きましょう!!